

	牧師 山本護	司式 平尾文子	奏楽 柳野真弓	教会トーンチャイムアンサンブル
前 奏	黙想 (トーンチャイム)		讃美歌 496	うるわしの白百合
讃美歌	147 よろこびたたえよ		聖餐式	(トーンチャイム)
祈 禱			讃美歌 203	しずけくやすけき
信仰告白	使徒信条 566		献 金	(トーンチャイム)
聖 書	詩編 16:10~11 ヨハネによる福音書 20:1~10		讃 詠 547	いまささぐるそなえものを
讃美歌	156 主はいきたもう		黙 禱	
説 教	『再創造、死と命の混沌』		主の祈り 564	
祈 禱			頌 栄 542	世をこぞりて
			祝 禱 後 奏	(トーンチャイム)

「おっとり刀で来る」という表現がある。私はてっきり、事変のない呑気なサムライがおっとり参上つかまつる感じ、だと思っていた。ところが意味は逆、刀を腰に差すひまなく手に持ったまま走っている様、慌てふためきひどく急いでいる形容らしい。復活直後の三者は皆、「おっとり刀」であった。

イエスは金曜日に十字架で死んだ。日曜日の早朝(ヨハネ 20:1)、マグダラのマリアは墓から弟子の許に「おっとり刀」で駆けつけた(20:2)。イエスの遺体が盗まれた(20:2)という報告を聞くや否や、ペトロともう一人の愛弟子は「おっとり刀」で墓へ向かった(20:4)。朝っぱらから、女(マリア)、壮年(ペトロ)、若者(愛弟子)が全速力で走っている光景は、尋常ではない。マリアは長い裾をたくしあげてバタバタ走り、ペトロは巨軀を揺さぶってドスドス走り、愛弟子はピューッと矢のごとくの猛ダッシュ。

妙に細かく描写されたこうした光景は何を物語っているのか。マリアは「墓から石が取りのけてあるのを見て(20:1)」、「主が墓から取り去られた(20:2)」と解した。「二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って先に着き(20:4)、彼が墓の外から覗くと「亜麻布が置いてあった(20:5)」。息切らせて到着したペトロが墓に入り、じっくり見ると「イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった(20:7)」。実況見分が進むと、イエスの遺体は盗まれたのではないことが明らかになる。あたかも陽が昇り、光景が鮮明になっていくように。

亜麻布と頭の覆いの状況を見て、ペトロは墓の外の愛弟子に「おいおい、こりゃ、主の遺体が盗まれたわけじゃないぜ」とでも言ったのか。「それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた(20:8)」。盗まれたのではないとすれば、ここでいったい何が起きているのか。

「イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである(20:9)」。イエスは御自身の復活をくり返し語ったが(マルコ 8:31,9:31,10:34)、「聖書(旧約)の言葉」は定かではない。ただ、こんな聖句がある。「あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく、あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず、命の道を教えてください(詩編 16:10~11)」。

イエスは死の拘束にも打ち克って、復活なされた。復活のイエスと最初に出会うのはマグダラのマリアだが(ヨハネ 20:16)、その前に死と命の激しい混沌があった。これは私の印象なのだが、死と命の混沌と創造は、イエスに近かった三者が「おっとり刀」で走る異様さとして、象徴的に報告されているのではないか。動かしがたい十字架の死。それに打ちひしがれるマリアは「墓から取り去られた(20:2)」と思い、愛弟子は神秘を前にして二の足を踏み(20:5)、ペトロは不可解さに唾然となった(20:7)。

キリストに結びつく洗礼を受け(ロマ 6:3)、私たちはキリストと共に葬られ、その死にあずかる(6:4)。「キリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるだろう(6:5)」。洗礼は死と命の混沌。私たちの生は決して死で終らないが、キリストの復活にあやかり、新たな命をこの人生につなげてちゃっかり延長させるものではない。死と命の混沌という再創造あつての復活だ。

復活の朝 計ってみれば数時間だろう それは実に濃密な間であった 死と命の混沌から復活まで 幼虫が飛翔する蝶になる前 蛹での混沌とした再創造があるように 永遠の命は混沌の闇を通して
本日礼拝後はイースターの祝会・お花見。4/16の礼拝後に定期総会を開きます。会員の方は出席して下さい。会員でなくても陪席でき質問もできます。4/15(土)1:30~3:30 メ'イカル・カフェ開催。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。